

2025 推 奨 施 工 法

SOLIDO typeF coffee
typeF shirasu

600 × 140

- ・ フィニッシュネイル併用接着工法
- ・ ビード接着工法
- ・ 全面接着工法



本資料のご使用に当たって

- 本資料は、SOLIDO typeF coffee 600×140、shirasu 600×140を安全に正しくお使いいただくための情報を記載しています。
- 工事に当たり、設計・施工の参考にしてください。
- 施工方法や納まりの詳細につきましては、元請様や工事店様のご判断、責任のもと、製品品質や施工品質が確保できるように方法を決定していただきますようお願い致します。
- 本資料内の数値の単位は、記載なき場合は全て「mm」です。

本体、色合いについて

- 製品本体、色の保証はございません。
- 本製品は素材から出た自然な色合いの為、一枚一枚の色、白華の風合いが大きく異なります。
また、似た風合いの製品が混ざる場合がありますが、色味、風合いの指定はできません。色味、風合いについての返品・交換は致しかねます。
- 本製品の四周切断面は面取り加工をしていませんので、施工、使用中に欠けが発生することがありますが、不良品ではございません。
- 年数が経過するにつれて、外観表面の白華（エフロレッセンス）部分が増減するなどにより色味が変わる可能性があります。

施工の前に

- 一枚一枚の色味が大きく異なりますが、製造上色味の近い商品がかたよって納品される場合があります。施工前に仮並べをして配置を検討してから施工することをおすすめします。
- 割付けの際は、できるだけ小幅物が来ないように施工してください。

目次

本資料のご使用に当たって	1
本体、色合いについて	1
施工の前に.....	1
1. 商品の選定	3
【1】商品仕様	4
【2】不燃材料の認定番号	5
【3】性能一覧	5
2. 施工仕様	6
【1】推奨範囲	7
【2】推奨施工法	7
【3】下地仕様	7
【4】施工仕様	8
【5】部材仕様	10
【6】推奨切断刃	13
【7】施工手順	13
【8】張り方のポイント	14
【9】参考納まり図	21
3. 木製部材の施工	24
【1】部材仕様	25
【2】施工仕様	27
4. 参考資料	30
【1】補修・仕上げ方法	31

1. 商品の選定

【1】商品仕様	4
【2】不燃材料の認定番号	5
【3】性能一覧	5

1. 商品の選定

【1】商品仕様

< 1 > 本体

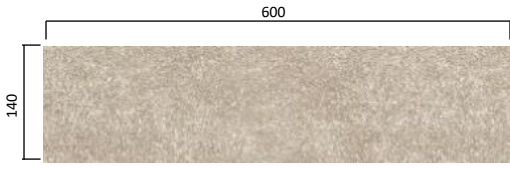
① SOLIDO typeF coffee

(単位:mm)

	600×140 (品番 : EA6511K01)
形状・寸法	 ※サネはありません
働き寸法	600×140
厚さ	15mm
1枚当たりの重量	約1.7kg/枚
1枚当たりの㎡数	0.084㎡/枚
梱包入数	10枚/梱

② SOLIDO typeF shirasu

(単位:mm)

	600×140 (品番 : EA6621K01)
形状・寸法	 ※サネはありません
働き寸法	600×140
厚さ	15mm
1枚当たりの重量	約1.7kg/枚
1枚当たりの㎡数	0.084㎡/枚
梱包入数	10枚/梱

【2】不燃材料の認定番号

●ケイミューが取得している不燃材料認定は以下の通りです。

認定区分	認定番号	一般名称
不燃材料	NM-3812	窯業系内装材

1. 商品の選定

【3】性能一覧

< 1 > 物性一覧表

●物性値は下表の通りです。

項目	物性値	試験方法
比重	1.3	105℃ 24hr乾燥（弊社測定値）
曲げ破壊荷重	785N以上	JIS A 5422
耐衝撃性	合格	JIS A 5422

※JIS A 5422に準じて測定していますが、JIS商品ではありません。

< 2 > VOC放散速度について

- 建築基準法によるシックハウス対策規制以後、ホルムアルデヒドだけでなく、それ以外のVOC(揮発性有機化合物)についても、室内濃度の測定方法や基準の設定が要求され、業界の自主的な取組みとして「住宅部品VOC表示ガイドライン」が制定されています。
- 本製品は「住宅部品VOC表示ガイドライン」の対象外ですが、VOC放散速度の確認をしています。
- VOC放散速度の確認結果は下表の通りです。

【外部機関測定結果及びVOC放散速度基準値】（外部機関：パナソニック㈱プロダクト解析センター）

	VOC放散速度（単位：μg/m ³ h）					
	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	クロルピリホス
SOLIDO type F coffee	1	4	0.2未満	0.2未満	0.2未満	検出できず
SOLIDO type F shirasu	0.2	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	検出できず
基準値（上限値）	5	38	29	550	32	—

※「建材からのVOC放散速度基準」に規定されている試験方法である「JIS A 1901」（小型チャンバー法）の試験開始後7日目の測定結果です。
 ※試験条件は、試験負荷率2.2㎡/㎡、換気回数0.5回/時間、温度28℃、湿度50%です。

< 3 > 調湿性能について

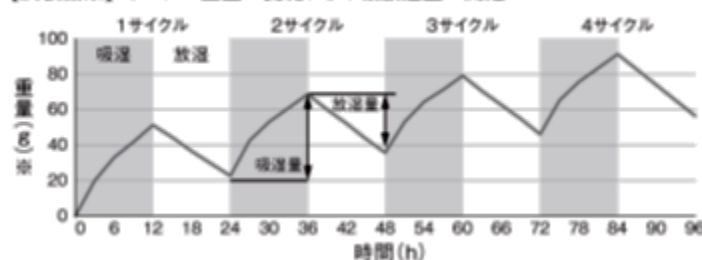
●SOLIDO typeF shirasu は、（一社）日本建材・住宅設備産業協会の調湿建材登録・表示制度の適合商品です。

※SOLIDO typeF coffee は、下表の性能を満たしていません。

項目	3時間後	6時間後	12時間後
吸湿量（g/㎡）	15以上	20以上	29以上
放湿量（g/㎡）	—	—	20以上 4サイクル確認

※試験方法 JIS A 1470 - 1:2014（建築材料の吸放湿性試験方法—第1部：湿度応答法）および付属書JA（規定）
 相対湿度50%→75%→50%周期を4サイクル繰り返す、温度23℃

【試験結果】サンプル重量の変化による吸放湿量の測定



※1㎡当たりの重量変化分です。
 ※左記結果は試験値であり、
 使用環境によって異なります。

2. 施工仕様

【1】推奨範囲	7
【2】推奨施工法	7
【3】下地仕様	7
【4】施工仕様	8
【5】部材仕様	10
【6】推奨切断刃	13
【7】施工手順	13
【8】張り方のポイント	14
【9】参考納まり図	21

本推奨施工法では、各ページがどの工法について説明しているか分かるよう、以下の通り、ページ右上に該当工法の○×表を付けています。

例) ビード接着工法について説明している場合

該当工法	フィニッシュネイル 併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	×	○	×

2. 施工仕様

該当工法	フィニッシュネイル併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	○	○	○

【1】推奨範囲

< 1 > 推奨地域

- 日本全国

< 2 > 推奨部位

- 垂直かつ平面である屋内壁に使用できます。それ以外のご使用の場合、当社で安全性等の確認・検証ができておりません。
- 層間変形角1/120以下の箇所に使用してください。
- 曲面へ本製品を曲げての施工は、割れや脱落の原因となるので避けてください。
- 下記の場所での使用については、変形等のおそれがあるため推奨していません。
 - ・ 水を使用したり、湿気が多くなる場所（例：トイレ、浴室、洗面等）
 - ・ 火気等を使用し、高温になる場所（例：暖炉、ガスコンロ周辺等）
- 防耐火規制等の法規制について、採用される認定や使用される部位の規制等を確認していただき、使用可否判断を行ってください。
- 留付け下地の不陸は2mm以下になるよう調整してください。

【2】推奨施工法

- 推奨施工法として、「フィニッシュネイル併用接着工法」と「ビード接着工法」、および「全面接着工法」があります。

推奨施工法	概要
フィニッシュネイル併用接着工法	接着剤とフィニッシュネイルを併用して固定する工法。接着剤が硬化するまでの間、フィニッシュネイルで保持します。（フィニッシュネイルの撤去は不要）。
ビード接着工法	接着剤と両面テープを併用して固定する工法。接着剤が硬化するまでの間、両面テープで保持します。
全面接着工法	接着剤を全面に塗布して固定する方法。（フィニッシュネイルや両面テープで仮留めしません。）

【3】下地仕様

- 木下地、鉄骨下地、LGS下地に使用できます。
- 木下地、鉄骨下地、LGS下地に面材を施工し、面材と商品を接着します。
- 落下・脱落・破損等の不具合が起きないように、ご採用者様にて、本資料を参考に施工法や留付け部材、関連部材等を適切に設計・施工してください。
- 各下地の推奨仕様については下表の通りです。

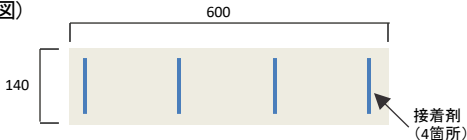
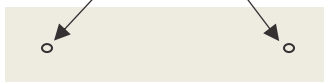
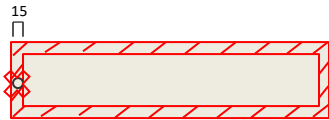
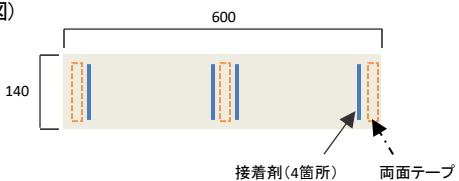
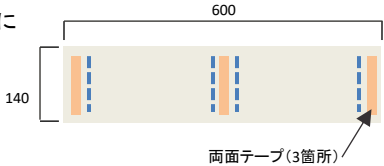
単位 (mm)

下地種類		木下地	鉄骨下地	LGS下地
下地（躯体）		面材が保持できるサイズ・間隔とすること		
面材	種類・厚さ	下記のいずれかとする ・ せっこうボード（GB-R、GB-F、GB-S） 厚9.5以上 ・ 構造用合板（1類以上） 厚9.0以上 ・ けい酸カルシウム板 厚6.0以上		
	固定方法	下地（躯体）に固定されており、割れや著しい反り、不陸等、経年で本体固定に影響を及ぼす劣化のない固定方法であること		
	不陸	2以下		

2. 施工仕様

該当工法	フィニッシュネイル併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	○	○	○

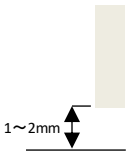
【4】施工仕様

項目			施工仕様
フィニッシュネイル併用接着工法	接着剤	接着剤	MPX-7 (品番: KLTMB) ※乾燥硬化型 (エマルジョンタイプ、溶剤タイプ) は使用不可。
		塗布方法	Φ8mmのビード状にて塗布
		塗布位置	本体裏面 幅方向に4箇所 (右図) 
		必要塗布量	0.4m/枚 (MPX-7: 1m ² あたり0.8本程度使用)
		養生・施工環境条件	接着可能温度: 5~35℃、張付け可能時間: 15分以内/23℃ (他接着剤を使用する場合は、各々の規定に従うこと)
	仮留め	仮留め材、留付け箇所	仮留め材 : フィニッシュネイル 留付け箇所 : 2箇所以上 (右図) 
		端打ち寸法	15mm以上 ※本体端部から15mm以内にはフィニッシュネイルを打たない。 (右図ハッチング範囲) 
ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	接着剤	接着剤	MPX-7 (品番: KLTMB) ※硬化型 (エマルジョンタイプ、溶剤タイプ) は使用不可。
		塗布方法	Φ8mmのビード状にて塗布
		塗布位置	本体裏面 幅方向に4箇所 (右図) 
		必要塗布量	0.4m/枚 (MPX-7: 1m ² あたり0.8本程度使用)
		養生・施工環境条件	接着可能温度: 5~35℃、張付け可能時間: 15分以内/23℃ (他接着剤を使用する場合は、各々の規定に従うこと)
	仮留め	仮留め材、留付け箇所	仮留め材 : TMテープW1 留付け箇所 : 本体裏面幅方向に3箇所 (右図) 
		必要本数	0.3m/枚 (TMテープW1: 1m ² あたり0.4巻程度使用)
全面接着工法	接着剤	接着剤	タイルエースPro (品番: KL TAG) ※乾燥硬化型 (エマルジョンタイプ、溶剤タイプ) は使用不可。
		塗布方法	全面接着 (3mmくし目) ※接着剤は下地面材に塗布 
		必要塗布量	1.5~1.9kg/m ² 以上
		養生・施工環境条件	接着可能温度: 5~35℃、張付け可能時間: 60分以内/23℃ 30分以内/35℃ ※本体施工後、24時間程度スペーサー等を入れずれ落ちないように仮固定してください。

2. 施工仕様

該当工法	フィニッシュネイル 併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	○	○	○

【4】施工仕様

項目		施工仕様
付帯物		下地に固定すること ※本体または保持力のない下地面材への固定は不可
各部 納まり	目地部	目透かし（目地幅目安：4～5mm程度）、目地埋め無し ※目地部は目透かしで設計してください。 ※突付け施工は、段差や目隙きが発生するおそれがあるためお止めください。 ※目地埋めが必要な場合は、十分な養生を行った上で、1本目地による充填など 本体表面に目地埋め材が付かないように注意して施工してください。
	出隅部	・純正品出隅部材納め（3. 木製部材の施工 参照） ・突付け納め（勝ち負け）
	床取合い部	・純正品巾木納め（3. 木製部材の施工 参照） ・現地調達品巾木納め ※巾木なしの場合は、本体下端の欠け防止および 本体施工時に床の不陸の影響を受けないよう 床面より1～2mm程度のすき間をあけてください。 
	天井等 他部材取合い部	・純正品見切り部材納め（3. 木製部材の施工 参照） ・突付け納め
補修・仕上げ		本品は、1枚毎に色味が異なる商品のため、現場仕上げ塗料（補修塗料）は 設定していません。補修・仕上げが必要な場合は、市販の補修剤 （4. 参考資料 参照）をご検討ください。

2. 施工仕様

該当工法	フィニッシュネイル併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	○	×	×

【5】使用部材

<1>フィニッシュネイル併用接着工法

①接着剤

- 接着剤は下記のMPX-7 (JIS A 5538適合) をご使用ください。
- MPX-7はコニシ株式会社の商品として通常販売されている商品です。コニシ株式会社設定品番はケイミュー設定品番とは異なります。ご注意ください。

品名 (品番)	形状	主成分	シックハウス対応	容量
MPX-7 品番: KL TMB		一液型変成シリコーン樹脂系 接着剤	F☆☆☆☆ JA1A 4VOC基準適合	333ml/本 20本/箱
0.4m/枚 (MPX-7: 1m ² 当たり0.8本程度使用)				

- 「MPX-7」以外の接着剤をご使用される場合は、内壁用の1液常温硬化型変成シリコーン樹脂系弾力性接着剤でかつ、JIS A 5538適合品をご使用ください。
ただし、本製品との接着性やシックハウス対応等の仕様について確認してからご使用ください。
※乾燥硬化型(エマルジョンタイプ、溶剤タイプ)の接着剤は、本製品の反りや接着不良となる恐れがあるため、使用しないでください。

②仮留め材 (フィニッシュネイル)

- 仮留め材は、下表のフィニッシュネイルを使用します。
- フィニッシュネイルは、面材に仮留めします。
※鉄骨下地やLGS下地 (JIS材) の場合、下地位置にフィニッシュネイルが当たると仮留めできないので
下地を避けて面材に仮留めするか、厚10mm以上の面材を使用してください。
- フィニッシュネイルを施工するときは、高圧フィニッシュネイルャーを使用してください。

仮留め材		留付け箇所	留付け対象 (面材)
種類	サイズ		
フィニッシュネイル	Φ1.0×25	2箇所以上 (下図) 	下記のいずれかとする ・せっこうボード (GB-R、GB-F、GB-S) 厚9.5以上 ・構造用合板 (1類以上) 厚9.0以上 ・けい酸カルシウム板 厚6.0以上

③目地テープ

- 目地から面材の色が見えないよう、下記の目地テープをご使用ください。
(目地部から面材の色が見えても問題ない場合、目地テープを使用する必要はありません。)

品名 (品番)	形状	主成分	色	容量
目地テープ 品番: KLST2		オレフィン系 (裏面粘着層付)	ダークグレー	幅20mm×長さ50m/巻 44巻/箱

2. 施工仕様

該当工法	フィニッシュネイル 併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	×	○	×

【5】使用部材

<2>ビード接着工法（接着剤+両面テープ）

①接着剤

- 接着剤は下記のMPX-7（JIS A 5538適合）をご使用ください。
- MPX-7はコニシ株式会社の商品として通常販売されている商品です。コニシ株式会社設定品番はケイミュー設定品番とは異なります。ご注意ください。

品名（品番）	形状	主成分	シックハウス対応	容量
MPX-7 品番：KL TMB		一液型変成シリコーン樹脂系 接着剤	F☆☆☆☆ JA1A 4VOC基準適合	333ml/本 20本/箱
	必要塗布量：0.4m/枚（MPX-7：1㎡当たり0.8本程度使用）			

- 「MPX-7」以外の接着剤をご使用される場合は、内壁用の1液常温硬化型変成シリコーン樹脂系弾力性接着剤でかつ、JIS A 5538適合品をご使用ください。
- ただし、本製品との接着性やシックハウス対応等の仕様について確認してからご使用ください。
- ※乾燥硬化型（エマルジョンタイプ、溶剤タイプ）の接着剤は、本製品の反りや接着不良となる恐れがあるため、使用しないでください。

②仮留め材（両面テープ）

- 仮留め材（両面テープ）は下記のTMテープW1をご使用ください。
- TMテープW1はコニシ株式会社の商品として通常販売されている商品です。コニシ株式会社設定品番はケイミュー設定品番とは異なります。ご注意ください。

品名（品番）	形状	主成分	容量
TMテープW1 品番：KL TMW		アクリル系両面粘着テープ	10m/巻 48巻/箱（バラ：1巻単位）
	必要本数：0.3m/枚（TMテープW1：1㎡当たり0.4巻程度使用）		

③目地テープ

- 目地から面材の色が見えないよう、下記の目地テープをご使用ください。
- （目地部から面材の色が見えても問題ない場合、目地テープを使用する必要はありません。）

品名（品番）	形状	主成分	色	容量
目地テープ 品番：KL ST2		オレフィン系 （裏面粘着層付）	ダークグレー	幅20mm×長さ50m/巻 44巻/箱

2. 施工仕様

該当工法	フィニッシュネイル 併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	×	×	○

【5】使用部材

< 3 > 全面接着工法

①接着剤

- 接着剤は下記のタイルエースProをご使用ください。
- タイルエースProはセメダイン株式会社の商品として通常販売されている商品です。
セメダイン株式会社設定品番はケイミュー設定品番とは異なります。ご注意ください。

項 目	仕 様
品名、品番	タイルエースPro、品番：KLTAG
形状	
主成分	1液湿気硬化型変成シリコン樹脂系弾性接着剤
色	グレー ※
内容	2kg / 本
	9本/箱 (バラ:1本単位)
シックハウス対応	F☆☆☆☆、JAIA 4VOC基準適合
塗布量	くし目3mm(平滑下地)1.5~1.9kg/m ²

※セメダイン株式会社では、他にブラックとホワイトがありますが、ケイミュー株式会社では販売しておりません。

- 「タイルエースPro」以外の接着剤をご使用される場合は、内外壁用の1液湿気硬化型変成シリコン樹脂系弾性接着剤でかつ、JIS A 5548適合品をご使用ください。
ただし、本製品との接着性やシックハウス対応等の仕様について確認してからご使用ください。
※乾燥硬化型(エマルジョンタイプ、溶剤タイプ)の接着剤は、本製品の反りや接着不良となる恐れがあるため、使用しないでください。

②くし目ゴテ

- 接着剤塗布時には市販のくし目ゴテ（3mm）を使用します。

③スペーサー

- 目地幅に合ったサイズのスペーサーを使用します。
※目地幅の確保と接着剤硬化までの仮固定（垂れ下がり防止）のために使用します。

〈参考〉純正品 5mm用：スペーサー-5（RY82S05）、2mm用：スペーサー-2（RY82S02）
（純正品以外のスペーサーを現地調達しても構いません。）

該当工法	フィニッシュネイル 併用 接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面 接着工法
	○	○	○

【6】推奨切断刃

品名	品番	形状・寸法	材質	入数 (出荷単位)
ダイヤモンド ^{テン} 10(φ100)	B491	 外径: 100mm 内径: 20mm 刃厚: 1.5mm 刃数: 10	ダイヤモンドチップ	1枚
ダイヤモンド ^{テン} 10(φ125)	B492	 外径: 125mm 内径: 20mm 刃厚: 1.5mm 刃数: 10	ダイヤモンドチップ	1枚

- 切断の際に粉じんがでますので、工具連動集じん機をセットした防じんカッターの使用、防じんマスク・メガネの着用等の対策をお願いします。
- 切断方法等に関しては、ケイミューの「外壁材設計施工マニュアル」の最新版をご確認ください。

【7】施工手順

フィニッシュネイル併用 接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
下地の確認		
↓	↓	↓
割付け		
↓	↓	↓
墨出し		↓
↓	↓	↓
目地テープの貼付け	両面テープ貼付け	↓
↓	↓	↓
接着剤の塗布(ビード状)		↓
↓	↓	↓
本体の張付け		
↓	↓	↓
フィニッシュネイル仮留め		↓
↓	↓	↓
点検、清掃、残材処理		

2. 施工仕様

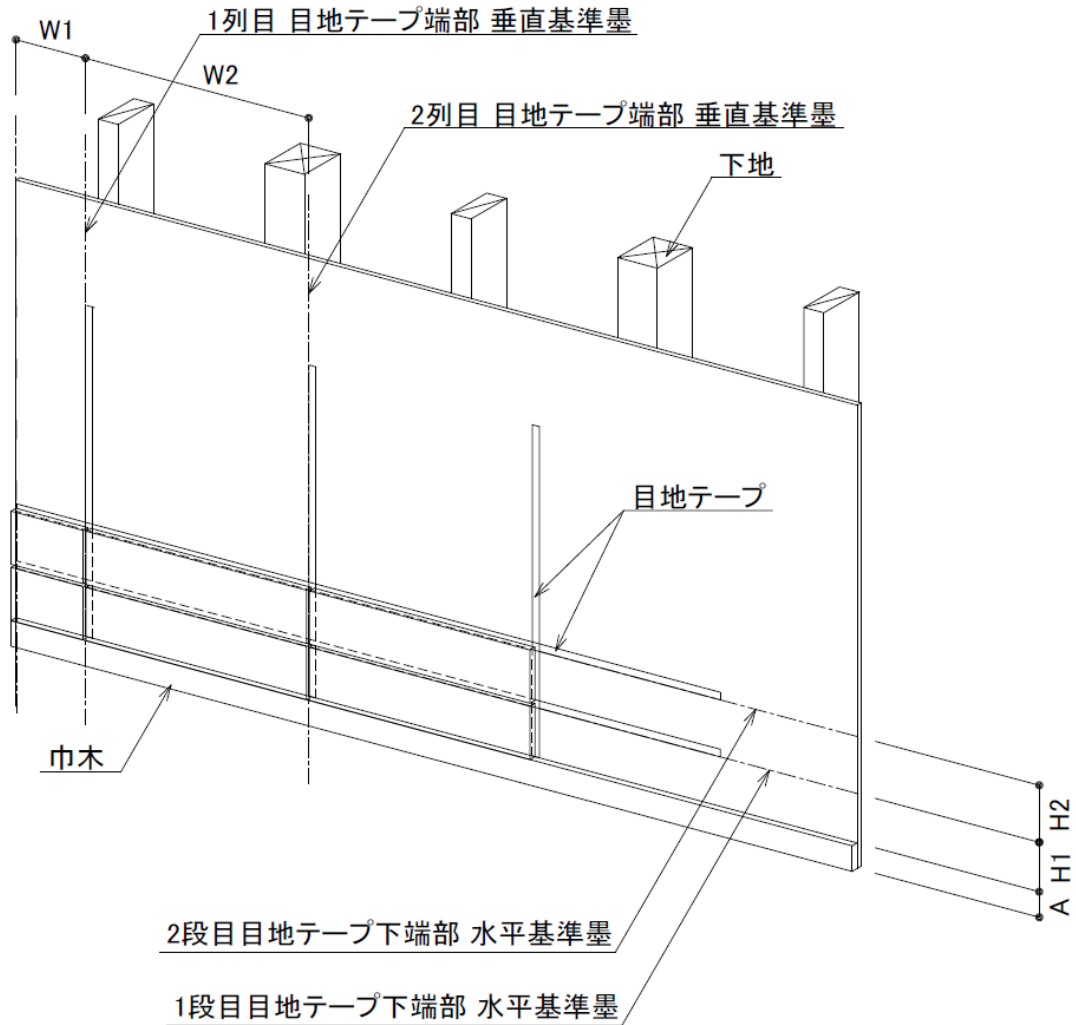
該当工法	フィニッシュネイル併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	○	×	×

【8】張り方のポイント

＜1＞フィニッシュネイル併用接着工法

①墨出し

- 本体目地部の中心位置が目地テープの中心位置に来るよう目地テープの位置を決めます。
- 目地部に目地テープを使用する場合、目地テープ端部に合わせて墨出しをします。
(目地テープを使用しない場合、通常のタイルの施工同様に本体端部に合わせて墨出しを行ってください。)



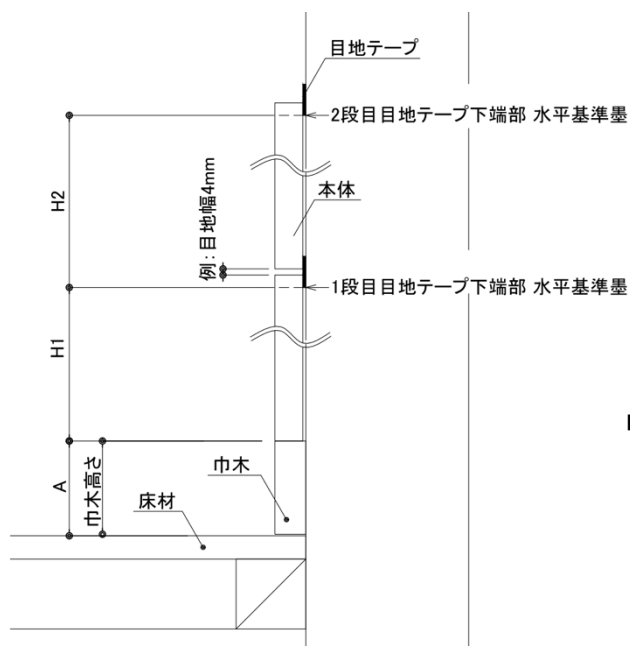
2. 施工仕様

該当工法	フィニッシュネイル併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	○	×	×

【8】張り方のポイント

<1>フィニッシュネイル併用接着工法

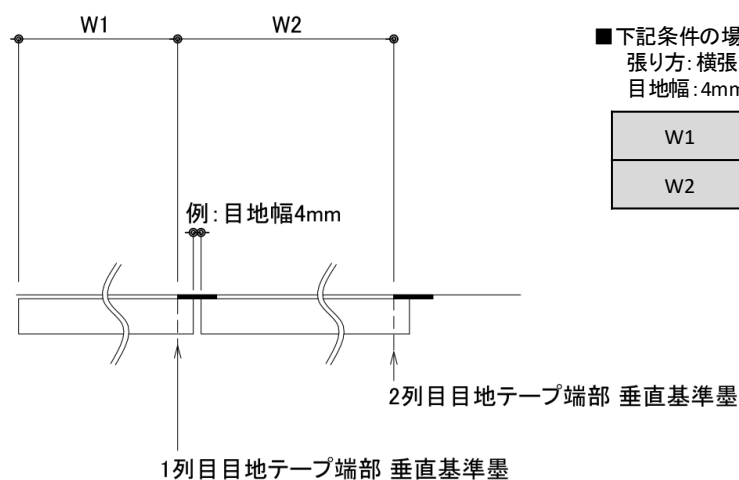
①墨出し



■下記条件の場合の目安寸法です。

張り方: 横張り、イモ貼り
目地幅: 4mm

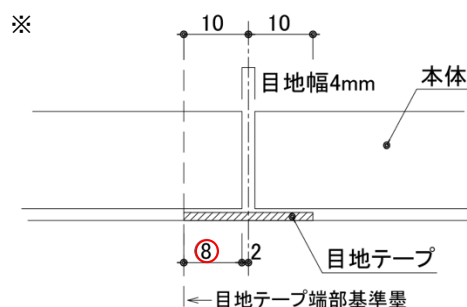
A	巾木高さ
H1	132mm(本体幅140mm-8mm※)
H2	144(本体幅140mm+目地幅4mm)



■下記条件の場合の目安寸法です。

張り方: 横張り、イモ貼り
目地幅: 4mm

W1	加工後本体長さ-8mm※
W2	604(本体長さ600+目地幅4mm)



②目地テープの貼付け

●目地テープは、裏面の剥離紙を剥がして面材に貼付けます。

2. 施工仕様

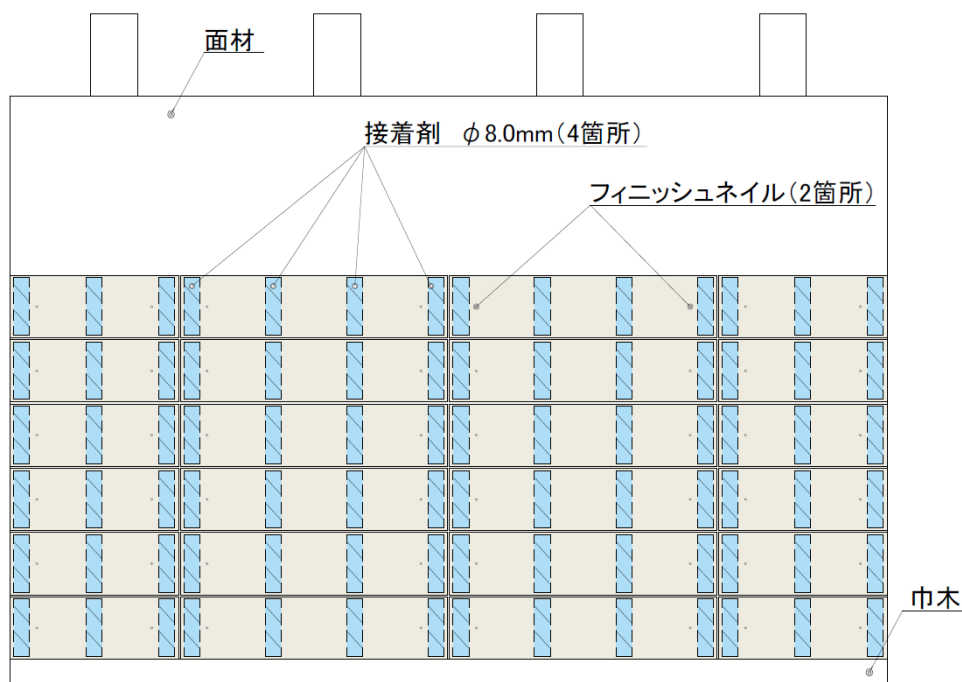
該当工法	フィニッシュネイル併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	○	×	×

【8】張り方のポイント

<1>フィニッシュネイル併用接着工法

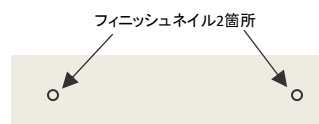
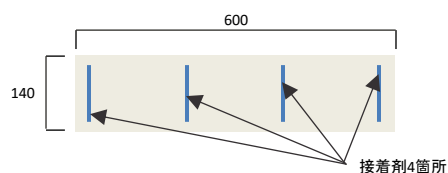
③本体の施工

- 本体は、接着剤（MPX-7）とフィニッシュネイルを併用して施工します。
- 本体裏面幅方向4箇所（MPX-7）をφ8mmのビード状で塗布します。
(0.4m/枚 [MPX-7: 1㎡当たり0.8本程度使用])
- 本体端部から15mm以上あけた位置に本体1枚当たりフィニッシュネイル2本で面材に仮留めします。

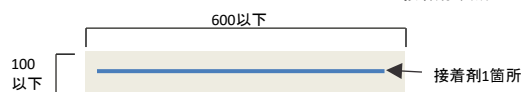
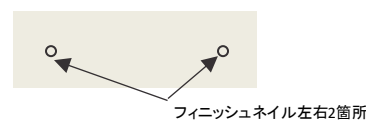
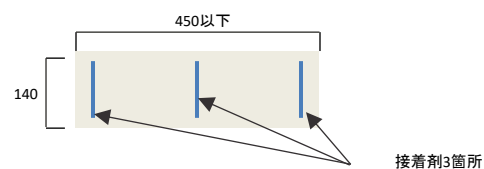


■張り方 (単位:mm)

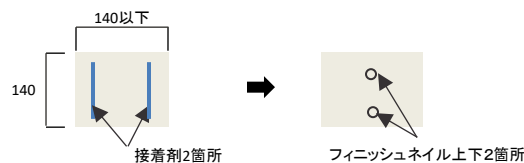
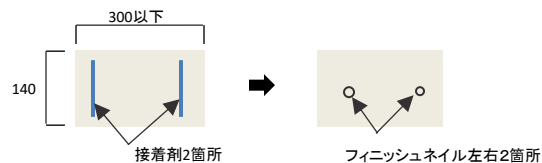
①通常



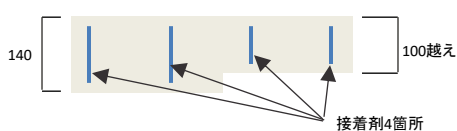
②切断



※幅方向100mm以下の場合、接着剤を長さ方向に塗布しても構いません。



③加工



2. 施工仕様

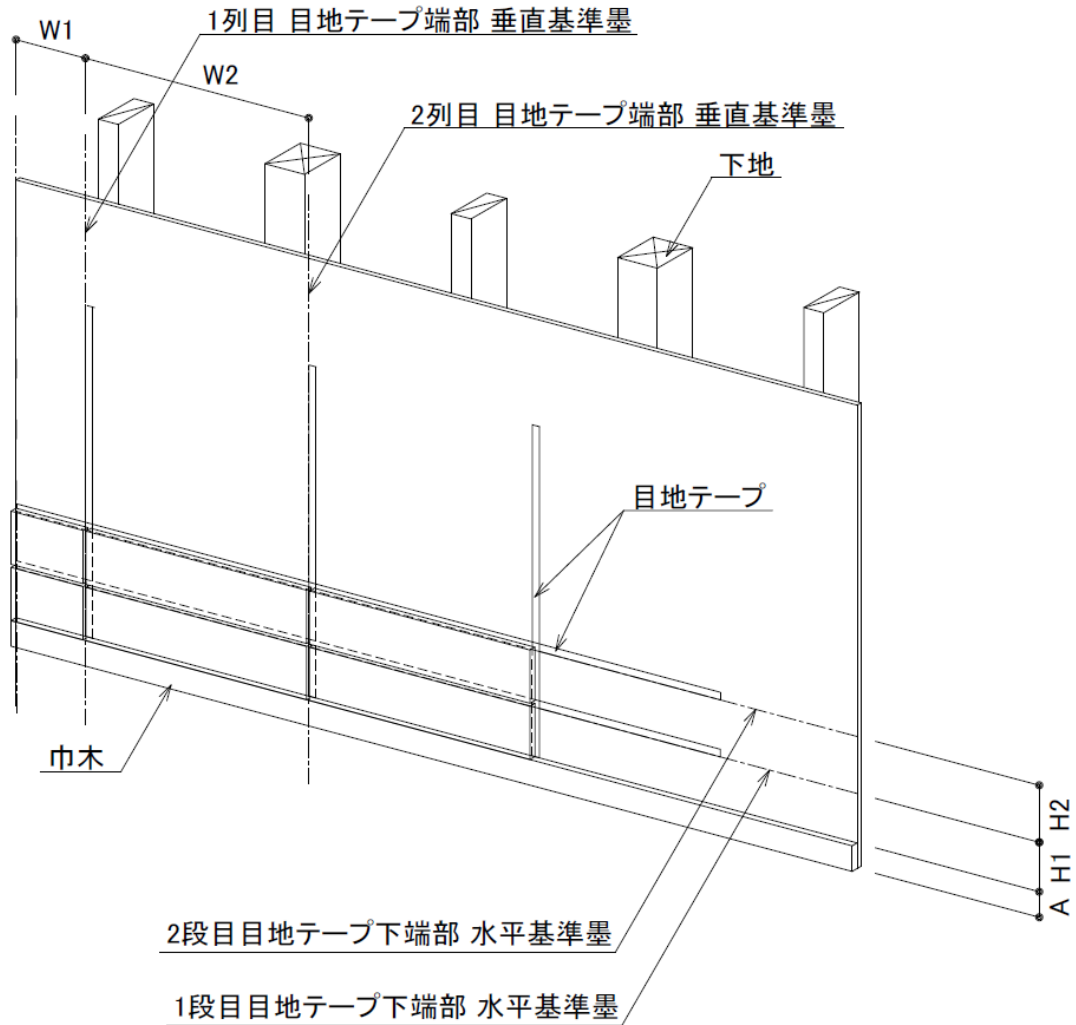
該当工法	フィニッシュネイル 併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	×	○	×

【8】張り方のポイント

＜2＞ビード接着工法（接着剤＋両面テープ）

①墨出し

- 本体目地部の中心位置が目地テープの中心位置に来よう目地テープの位置を決めます。
- 目地部に目地テープを使用する場合、目地テープ端部に合わせて墨出しをします。
(目地テープを使用しない場合、通常のタイルの施工同様に本体端部に合わせて墨出しを行ってください。)



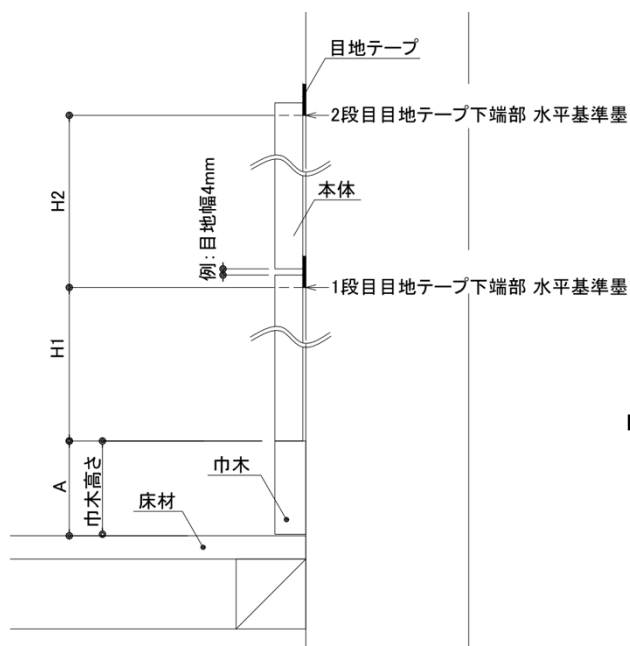
2. 施工仕様

該当工法	フィニッシュネイル併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	×	○	×

【8】張り方のポイント

<2>ビード接着工法（接着剤+両面テープ）

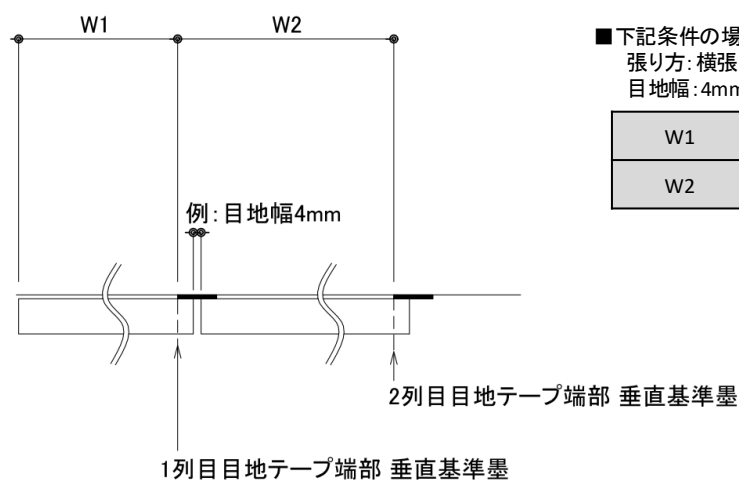
①墨出し



■下記条件の場合の目安寸法です。

張り方: 横張り、イモ貼り
目地幅: 4mm

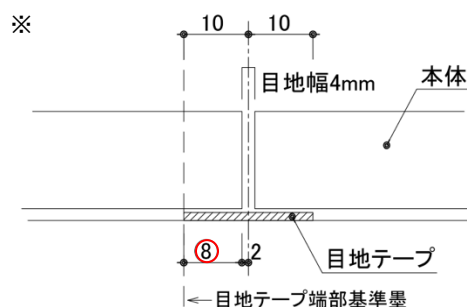
A	巾木高さ
H1	132mm(本体幅140mm-8mm※)
H2	144(本体幅140mm+目地幅4mm)



■下記条件の場合の目安寸法です。

張り方: 横張り、イモ貼り
目地幅: 4mm

W1	加工後本体長さ-8mm※
W2	604(本体長さ600+目地幅4mm)



②目地テープの貼付け

●目地テープは、裏面の剥離紙を剥がして面材に貼付けます。

2. 施工仕様

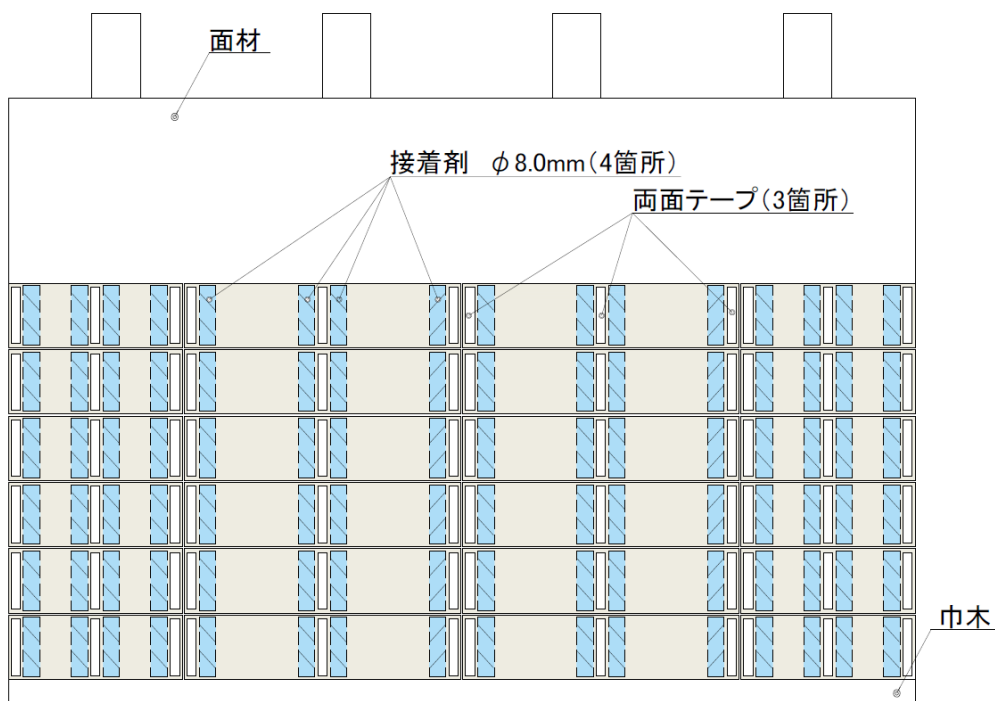
該当工法	フィニッシュネイル 併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	×	○	×

【8】張り方のポイント

<2> ビード接着工法（接着剤+両面テープ）

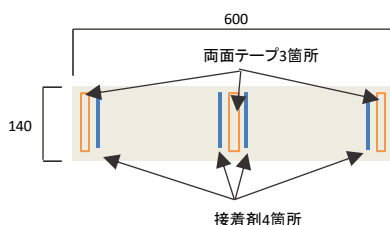
③ 本体の施工

- 本体は、接着剤（MPX-7）と仮留め材（両面テープ）を併用して施工します。
 - 仮留め材（両面テープ）は本体裏面に3箇所貼ります。
 - 本体裏面幅方向4箇所（MPX-7）をφ8mmのビード状で塗布します。
（必要塗布量：0.4m/枚〔MPX-7：1m²当たり0.8本程度使用〕）
- ※両面テープの接着力が強く、両面テープ貼付け後に本体位置の微調整ができません。
事前に貼付け箇所をよく確認した上、貼付けてください。
※一度剥がしたり、剥がれたりした両面テープは粘着力が低下しているため再利用せず、新しいものを使用してください。

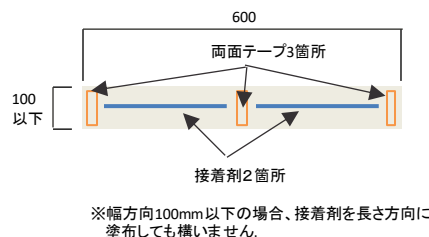
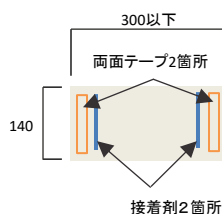


■ 張り方（単位:mm）

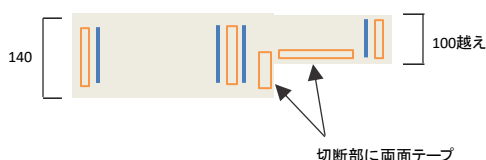
① 通常



② 切断



③ 加工



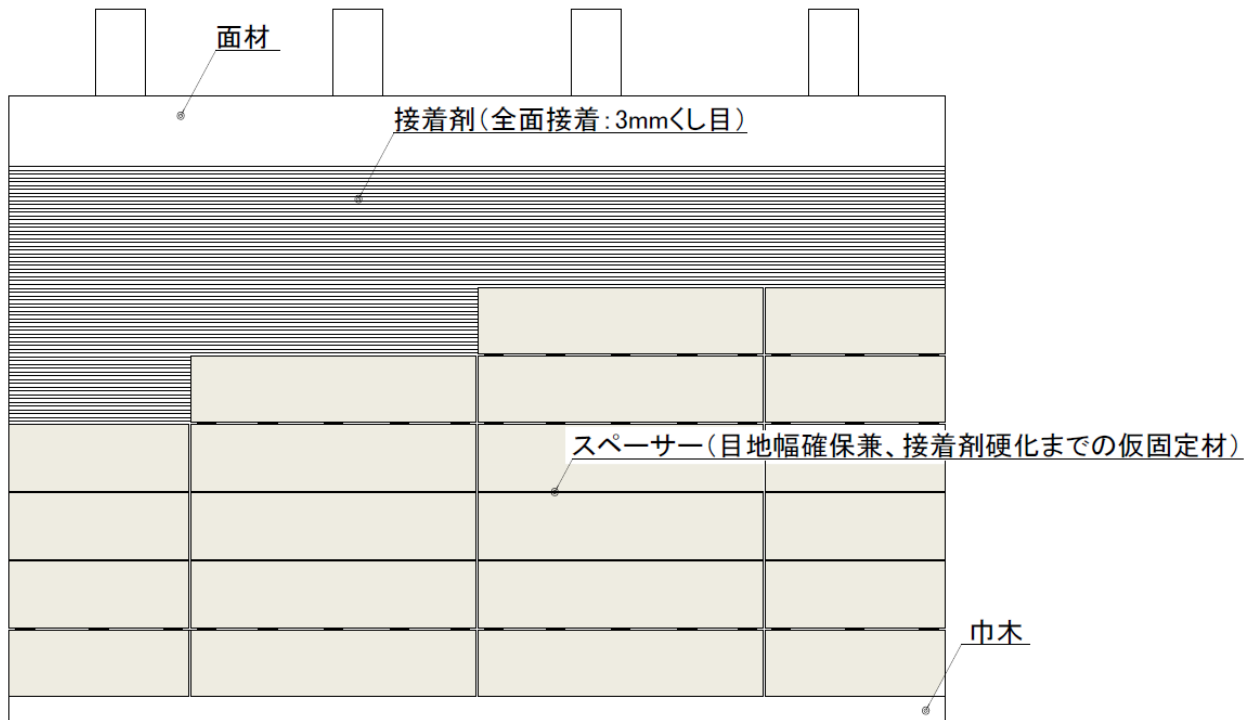
2. 施工仕様

該当工法	フィニッシュネイル 併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	×	×	○

【8】張り方のポイント

< 3 > 全面接着工法

- 面材に接着剤（タイルエースPro）を3mmくし目で塗布します。
- 1段目本体を、もみ込むように押さえつけ圧着します。
- 目地幅分のスペーサーを入れ、2段目以降の本体も、もみ込むように押さえつけ圧着します。
※本体張付け前に本体への付着率が均一に6割以上か確認してください。
付着率が少ない場合、本体の浮きや接着不良による脱落の恐れがあります。
※接着剤硬化までの垂れ下がり防止の為、目地部のスペーサーは24時間程度 仮置きしてください。



2. 施工仕様

該当工法	フィニッシュネイル併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	○	×	×

【9】参考納まり図

<1>フィニッシュネイル併用接着工法

※ピンネイルまたはフィニッシュネイルと接着剤(MPX-7)を併用して留付け

目地部	床取合い部
天井取合い部	出隅部
入隅部	

2. 施工仕様

該当工法	フィニッシュネイル 併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	×	○	×

【9】参考納まり図

<2> ビード接着工法

※ピンネイルまたはフィニッシュネイルと
接着剤(MPX-7)を併用して留付け

目地部	床取合い部
接着剤+両面テープ 目地テープ SOLIDO typeF 600 × 140	SOLIDO typeF 600 × 140 接着剤+両面テープ 柿渋塗りセンダン巾木(60mm)※ 床材
天井取合い部	出隅部
天井材 柿渋塗りセンダン見切り (接着工法用)※ SOLIDO typeF 600 × 140 接着剤+両面テープ	柿渋塗りセンダン出隅※ 両面テープ 接着剤 SOLIDO typeF 600 × 140
入隅部	
接着剤 両面テープ 柿渋塗りセンダン入隅※ SOLIDO typeF 600 × 140	

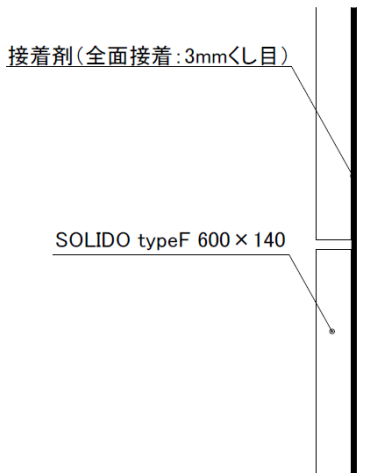
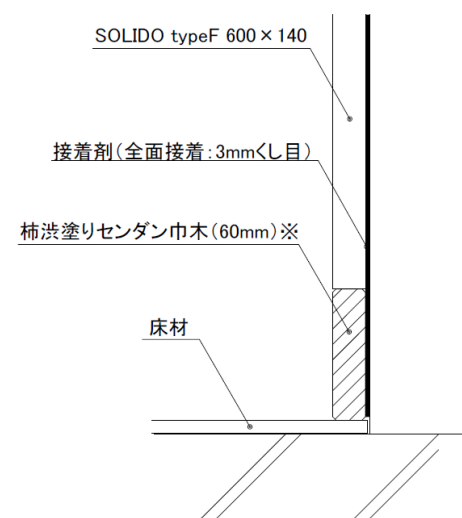
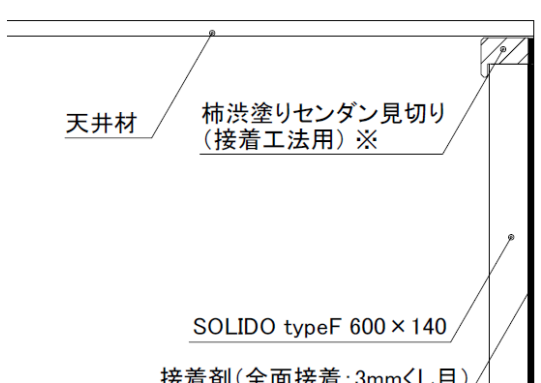
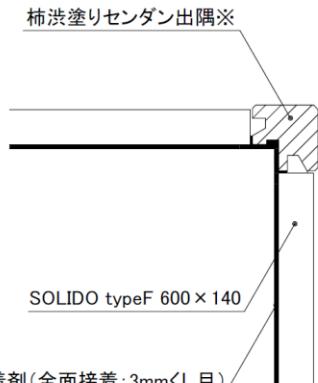
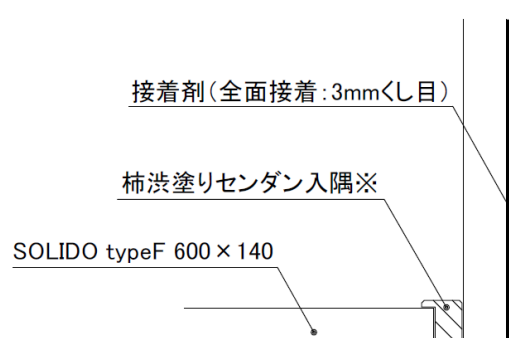
2. 施工仕様

該当工法	フィニッシュネイル 併用接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
	×	×	○

【9】参考納まり図

< 3 > 全面接着工法

※ピンネイルまたはフィニッシュネイルと
接着剤(タイルエースPro)を併用して留付け

目地部	床取合い部
 接着剤(全面接着:3mm<し目) SOLIDO typeF 600 × 140	 SOLIDO typeF 600 × 140 接着剤(全面接着:3mm<し目) 柿渋塗りセンダン巾木(60mm)※ 床材
天井取合い部	出隅部
 天井材 柿渋塗りセンダン見切り (接着工法用)※ SOLIDO typeF 600 × 140 接着剤(全面接着:3mm<し目)	 柿渋塗りセンダン出隅※ SOLIDO typeF 600 × 140 接着剤(全面接着:3mm<し目)
入隅部	
 接着剤(全面接着:3mm<し目) 柿渋塗りセンダン入隅※ SOLIDO typeF 600 × 140	

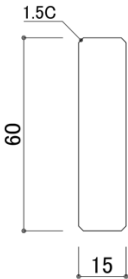
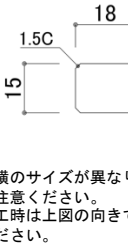
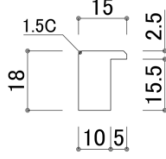
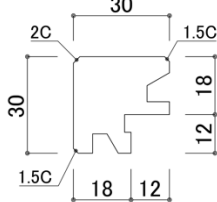
3. 木製部材の施工

【1】部材仕様		25
【2】施工仕様		27

3. 木製部材の施工

【1】部材仕様

< 1 > 部材本体

使用部位	品名	品番	断面形状・寸法			材質		入数 (出荷単位) ※2
			本体	金具施工用 スペーサー (同梱品)※1	長さ ※2	本体	金具施工用 スペーサー ※1	
床取合い部	柿渋塗りセンダン 巾木 (60mm)	B5911M1		50×5	2000mm	桧檀 柿渋塗装	MDF	各2本/箱
	柿渋塗りセンダン 巾木 (15mm)	B5912M1		13×5				
端部 入隅部 腰壁上部 天井取合い部 等	柿渋塗りセンダン 見切り (接着工法用)	B5914M1		—			—	
出隅部	柿渋塗りセンダン 出隅	B5915M1		35×5			MDF	

※1 同梱の金具施工用スペーサー (5mm厚さ) は巾木施工時の出の調整にも使用できます。必要に応じてご使用ください。

※2 「本体」、「金具施工用スペーサー」共通の内容です。

- 本製品は「SOLIDO typeF coffee/shirasu」の専用商品です。
- 部材は接着剤とネイル (ピンネイルまたはフィニッシュネイル) で固定します。
- 部材によって使用するネイルのサイズが異なります。(次ページ参照)
- 無垢材のため、多少の反りやねじれのあるものが含まれています。また、日焼けによって色が変わる場合があります。ご了承ください。
- 反りやねじれのある場合は、伸びるように調整しながらネイルで固定してください。
- 無垢材のため、色違い、ムラ等があります。また、節、てかり、入り皮、ヤニスジ等は異常ではなく、素材の個性であり、商品意匠の一部です。
- 施工前に裏表 (巾木のみ) や上下の選定、複数本使用の場合は仮並べをして配置の検討をしてから施工することをおすすめします。

3. 木製部材の施工

【1】部材仕様

<2> 接着剤

●木製部材に使用する接着剤は工法により使い分けます。

■適用接着剤

工法	フィニッシュネイル併用 接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
木製部材に 使用する接着剤	MPX-7		タイルエースPro

品名（品番）	形状	主成分	シックハウス対応	容量
MPX-7 品番：KL TMB		一液型変成シリコン樹脂系 接着剤	F☆☆☆☆ JAIA 4VOC基準適合	333ml / 本 20本 / 箱
タイルエースPro 品番：KL TAG		1液湿気硬化型変成シリコン 樹脂系弾性接着剤	F☆☆☆☆ JAIA 4VOC基準適合	2kg / 本 9本 / 箱

●MPX-7はコニシ株式会社の商品として通常販売されている商品です。コニシ株式会社設定品番はケイミュー設定品番とは異なります。ご注意ください。

●タイルエースProはセメダイン株式会社の商品として通常販売されている商品です。セメダイン株式会社設定品番はケイミュー設定品番とは異なります。ご注意ください。

<3> 適用下地、適用工法

■適用下地

種類	下記のいずれかとする ・せっこうボード（GB-R、GB-F、GB-S） ・構造用合板（1類以上） ・けい酸カルシウム板
厚み	規定なし (9.5mm以下の場合、次項※要確認)

■適用工法

○：施工可 ×：施工不可

施工仕様	工法	フィニッシュネイル併用 接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
部材本体 の種類	柿渋塗りセンダン 巾木（60mm）	○	○	○
	柿渋塗りセンダン 巾木（15mm）	○	○	○
	柿渋塗りセンダン 見切り（接着工法用）	○	○	○
	柿渋塗りセンダン 出隅	○	○	○

<4> 留付け材（現地調達）

●部材本体は接着剤と留付け材（ネイル：ピンネイルまたはフィニッシュネイル）で固定します。

●部材本体の種類によって使用するネイルのサイズが異なりますので、下表をご参照ください。

（単位：mm）

施工仕様	工法	サイズ	留付け間隔
部材本体 の種類	柿渋塗りセンダン巾木（60mm）	25以上	300以下
	柿渋塗りセンダン巾木（15mm）	30以上	
	柿渋塗りセンダン見切り（接着工法用）	30以上	
	柿渋塗りセンダン出隅	15	

●金具施工用スペーサーについても接着剤と留付け材で固定しますが、特に留付け材の規定はありません。各下地に留付けが可能で、保持力が確保できる留付け材（例：ビス、ネイル等）で留付けてください。

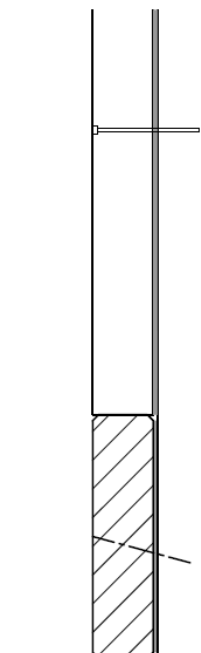
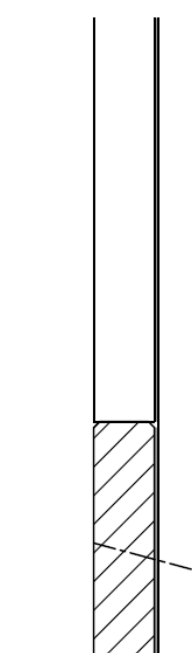
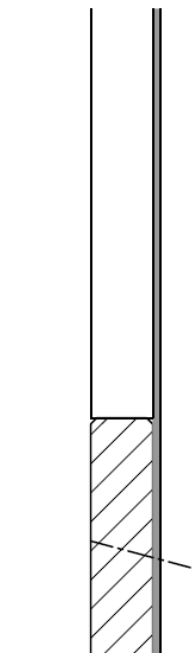
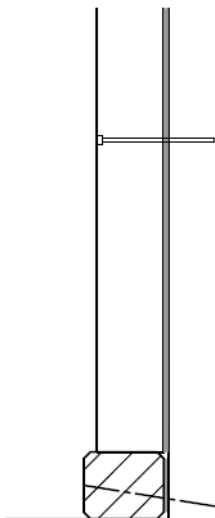
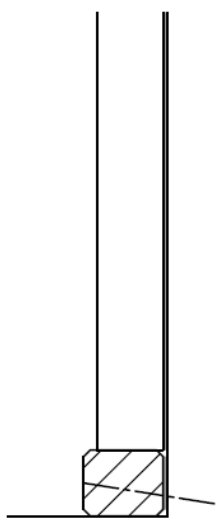
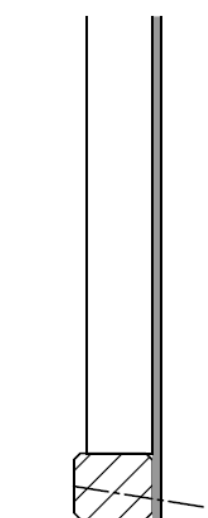
※鉄骨下地、LGS下地の場合、ネイルは下地にあたらない位置に留付けてください。

3. 木製部材の施工

【2】施工仕様

< 1 > 巾木

図中凡例:  接着剤  ネイル

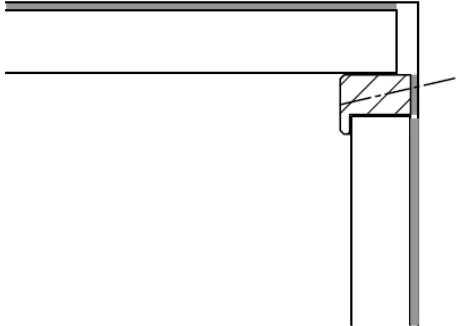
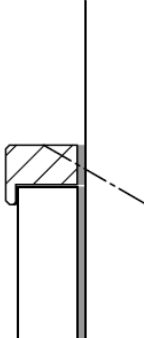
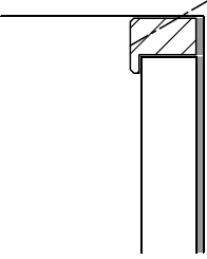
部材名	施工仕様		
	フィニッシュネイル併用 接着工法	ビード接着工法 (接着剤+両面テープ)	全面接着工法
柿渋塗り センダン 巾木 (60mm)			
部材固定に 必要な 接着剤の 目安本数	MPX-7: 0.035本/m		タイルエースPro: 1.5~1.9kg/m ² (本体と共通)
	※Φ3mm程度でそれぞれビード状に波型に塗布		
柿渋塗り センダン 巾木 (15mm)			
部材固定に 必要な 接着剤の 目安本数	MPX-7: 0.01本/m		タイルエースPro: 1.5~1.9kg/m ² (本体と共通)
	※Φ2mm程度でビード状に塗布		

3. 木製部材の施工

【2】施工仕様

< 2 > 見切り

図中凡例:  接着剤  ネイル

部材名	施工箇所		
	入隅	壁見切り	天井見切り
柿渋塗り センダン 見切り (接着工法用)			
部材固定に 必要な 接着剤の 目安本数	〔フィニッシュネイル併用接着工法、ビード接着工法〕 MPX-7: 0.01本/m ※Φ2mm程度でビード状に塗布 〔全面接着工法〕 タイルエースPro: 1.5～1.9kg/m² (本体と共通)		

注意

ネイルを施工する際は、SOLIDO本体にかからないようにしてください。
基材が固いためネイルが刺さらず、
表面に飛び出すため危険です。

例) 壁見切り



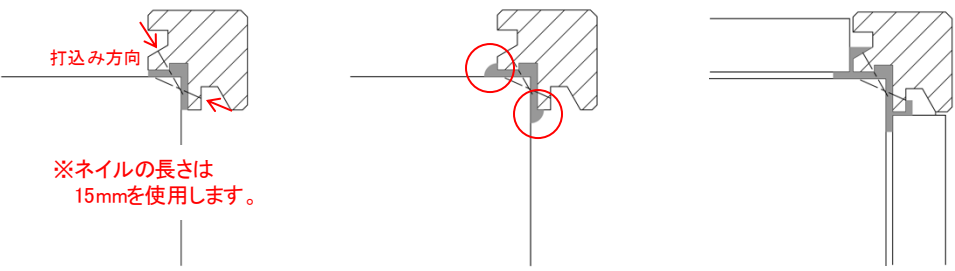
※基材に刺さらず、
ネイルが飛び出す

3. 木製部材の施工

【2】施工仕様

< 3 > 出隅

図中凡例:  接着剤  ネイル

	施工仕様
柿渋塗り センダン 出隅	①部材に接着剤を塗り、溝部からネイルを打って固定する。 ②部材と下地の取合い部に接着剤を塗る。 ③SOLIDOを施工する。  打込み方向 ※ネイルの長さは15mmを使用します。
部材固定に必要な 接着剤の 目安本数	〔フィニッシュネイル併用接着工法、ビード接着工法〕 0.034本/m ※・部材⇄下地(①) : Φ2mm程度のビード状 ・部材と下地の取合い部(②): Φ3mm程度のビード状でそれぞれ塗布 〔全面接着工法〕 タイルエースPro: 1.5～1.9kg/m² (本体と共通)

注意

出隅部材を留付けるネイルの長さは15mmを使用してください。
15mmを超える長さのネイルを使用した場合、出隅部材や下地の表面からネイルが飛び出すため危険です。



※ネイルの長さが15mmを超えた場合、下地からネイルが飛び出す

4. 参考資料

【1】補修・仕上げ方法	31
-------------------	----

4. 参考資料

【1】補修・仕上げ方法

<1>補修・仕上げについて

- 本製品は、1枚毎に色味が異なる商品のため、現場仕上げ塗料（補修塗料）は設定していません。補修・仕上げが必要な場合は、市販の補修剤等を使用してください。

<参考例>

「ジョイントコーク・A」 ヤヨイ化学工業㈱

F☆☆☆☆

※ホームセンター等で販売されています。



- ・市販のアクリル塗料に比べて艶が無く本製品になじみます。
- ・現場で混ぜて使う事で、1枚毎に色味が異なる本製品に対応可能です。

※「ジョイントコーク・A」について

補修・仕上げの参考例としてのご紹介のため、ヤヨイ化学㈱で下記内容に関する保証お問合せ対応はしていませんのでご了承ください。

- ・施工に関する内容
- ・色味や仕上り外観等
- ・施工後の変色等の不具合等

<2>準備物

- 補修に必要な準備物は下記の通りです。
- 「ジョイントコーク・A」は、ジュラク・ブラック・グレーの3色を使用して調合し、塗布する箇所の色に合わせます。

ジョイントコーク・A	攪拌、塗装用のヘラ	ジョイントコークを混ぜる用紙 (白い厚紙等)
ブラック ジュラク グレー		<例：白い厚紙> 用紙サイズ：約150mm角 ※はかりを使用しない場合は、マジックで等間隔に目盛りを打って調合の目安とする (下の例では、1目盛り=10mm)
	はかり	

4. 参考資料

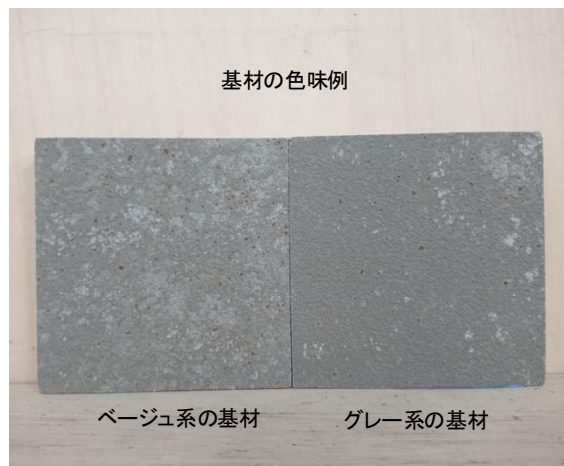
【1】補修・仕上げ方法

＜3＞調色・調合方法 —SOLIDO typeF coffee—

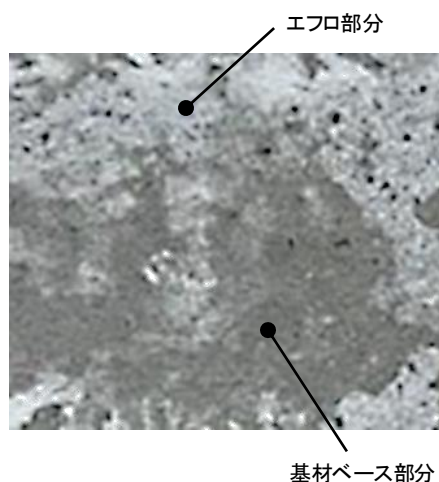
①調色について

(1)SOLIDO typeF coffeeは、ベージュ系～グレー系で基材色にばらつきがあります。

また、同一基材内でもエフロと基材箇所で色味が異なりますので、塗布する箇所に合わせて事前に試し調合を行ってください。



(2)エフロ部分の色に合わせて補修するか、基材ベース部分の色に合わせて補修するかを決めてください。



(3)塗布する箇所に合わせて、ジョイントコークを混ぜてください。（下表参照）

※あくまでも参考ですので、実際の板に合わせて調整が必要です。

SOLIDO typeF coffeeの参考割合

参考割合		基材色	
		ベージュ系の基材	グレー系の基材
塗布箇所	基材ベース部分	ブラック 2 ジュラク 23	ブラック 5 ジュラク 10 グレー 22
	エフロ部分	ブラック 1 ジュラク 3 グレー 13	ブラック 1 グレー 20

推奨色

エフロに似せて仕上げることで補修跡が比較的目立ちにくくなります

4. 参考資料

【1】補修・仕上げ方法

< 3 > 調色・調合方法 —SOLID0 typeF coffee—

②調合方法

- (1) ジョイントコークのキャップをとります。
(使用後は、キャップをはめて保存します。)



- (2) ジョイントコークの先端を切断します。



(3) <はかりを使用する場合>

調合したい比率分のジョイントコークを計測しながら出します。

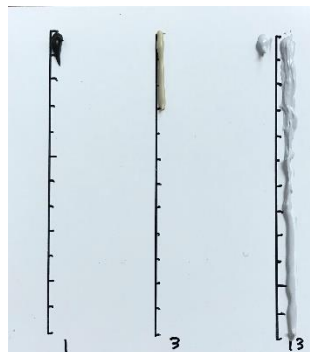
例) ブラック : ジュラク : グレイ = 1 : 3 : 13
(0.5g : 1.5g : 6.5g)



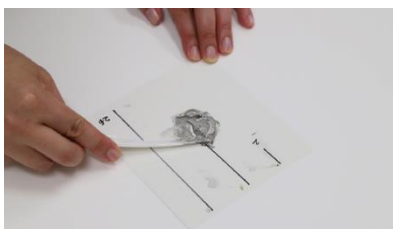
<はかりを使用しない場合>

目盛りの入った白い用紙に、調合したい比率分のジョイントコークを出します。

例) ブラック : ジュラク : グレイ = 1 : 3 : 13
※各色を同じ太さで引くようにしてください。



- (4) ヘラを使って用紙上でしっかり混ぜます。



- (5) 端材等で色味の確認をして、黒すぎればグレーを足す、白すぎればブラックを足す等の微調整をしてください。

※ブラックは少し加えるだけでも影響が大きいですので慎重に足してください。

※ジョイントコークは乾燥すると色が濃くなりますので、若干明るめに色を調整すると乾燥後の色が合うようになります。



4. 参考資料

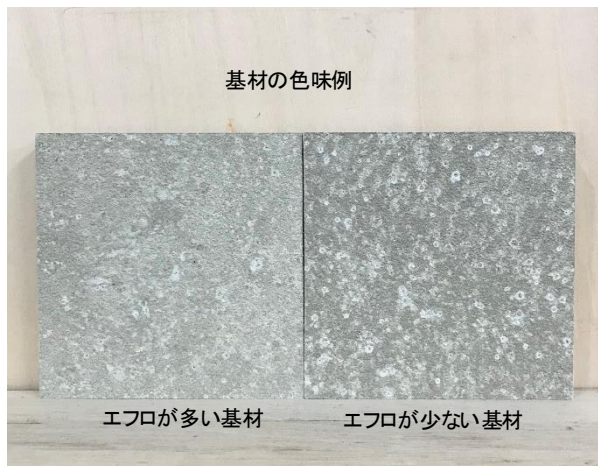
【1】補修・仕上げ方法

＜4＞調色・調合方法 —SOLIDO typeF shirasu—

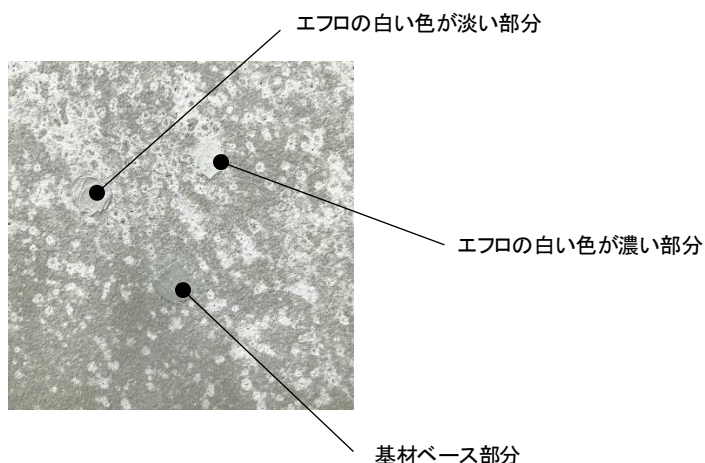
①調色について

(1) SOLIDO typeF shirasuは、ベージュ系～グレー系で基材色にばらつきがあります。

また、同一基材内でもエフロと基材箇所で色味が異なりますので、塗布する箇所に合わせて事前に試し調合を行ってください。



(2) エフロ部分の色に合わせて補修するか、基材ベース部分の色に合わせて補修するかを決めてください。



(3) 塗布する箇所に合わせて、ジョイントコークを混ぜてください。（下表参照）

※あくまでも参考ですので、実際の板に合わせて調整が必要です。

SOLIDO typeF shirasuの参考割合

塗布箇所	参考割合
基材ベース部分	ブラック 1 ジュラク 20 グレー 8
エフロの白い色が淡い部分	ブラック 1 ジュラク 23 グレー 24
エフロの白い色が濃い部分	ジュラク 1 グレー 5



推奨色

基材ベースに似せて仕上げることで補修跡が比較的目立ちにくくなります

4. 参考資料

【1】補修・仕上げ方法

＜4＞調色・調合方法 —SOLIDO typeF shirasu—

②調合方法

- (1) ジョイントコークのキャップをとります。
(使用後は、キャップをはめて保存します。)



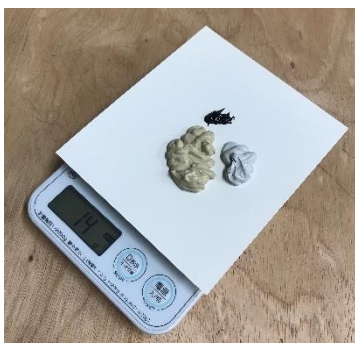
- (2) ジョイントコークの先端を切断します。



＜3＞はかりを使用する場合＞

調合したい比率分のジョイントコークを計測しながら出します。

例) ブラック : ジュラク : グレイ = 1 : 20 : 8
(0.5g : 10.0g : 4.0g)



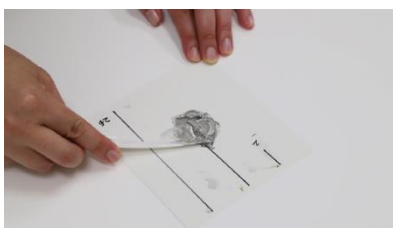
＜3＞はかりを使用しない場合＞

目盛りの入った白い用紙に、調合したい比率分のジョイントコークを出します。

例) ブラック : ジュラク : グレイ = 1 : 20 : 8
※各色を同じ太さで引くようにしてください。



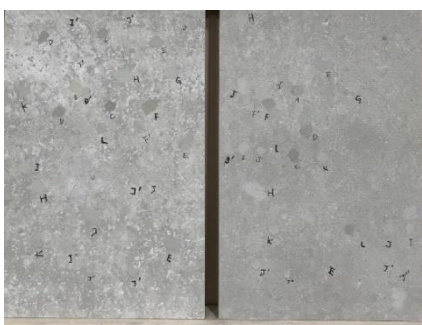
- (4) ヘラを使って用紙上でしっかり混ぜます。



- (5) 端材等で色味の確認をして、黒すぎればグレーを足す、白すぎればブラックを足す等の微調整をしてください。

※ブラックは少し加えるだけでも影響が大きいですので慎重に足してください。

※ジョイントコークは乾燥すると色が濃くなりますので、若干明るめに色を調整すると乾燥後の色が合うようになります。



4. 参考資料

【1】補修・仕上げ方法

< 5 > 施工例

※写真例：SOLIDO typeF coffee

●キズ部への塗布例

塗布前



塗布後



塗布前



塗布後

